

C² コンパクト・シティ論の全体像

現況・背景	基本理念	目標・方針	実現手法	ポイント
<p>環境破壊 環境負荷の増大</p>	<p>環境負荷の低減</p>	<p>エネルギー効率の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集住化 ・施設の複合化 ・インフラエネルギーロスの低減 ・公共交通重視化 	<p>市街地のコンパクト化 施設のコンパクト化 公共交通重視型の交通体系化</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>コンパクト・シティ</p>
<p>財政難</p>	<p>財政の健全化</p>	<p>行政コストの合理化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの集約化 ・既存公共交通機関の有効活用 	
<p>人口・世帯数の減少 →市街地密度の低下</p>				
<p>少子化 →生産力の低下</p>				
<p>高齢化 →福祉コストの増加</p>				

C² コンパクト・シティ実現化推進プログラム案

031222 林

年度	No.	項目	組織	備考
H16	1	目標像明確化専門組織の設立	専門会議A	目標像明確化のための組織
	2	札幌市の目標像の明確化 国内外の先進事例調査 先進研究者からのヒアリング など		
H17	3	「2」に基づく目標像の確定	専門会議A	
	4	行動計画検討専門組織の設立	専門会議B	実現方策検討のための組織。 「3」の目標像と「A」のメンバーの理念とに ギャップが生じた場合、メンバー改選
	5	行動計画の検討		「C ² 030820」メモなどの 検討項目に関する計画の具体化
H18	6	行動計画の確定	専門会議B	